

没後50年 松野一夫展

出品リスト

9月16日(土)～11月12日(日)
北九州市立美術館分館

※本展覧会で便宜上付けたタイトルは[]で示した。タイトルの末尾に*を付したものは、松野一夫の没後、長男 松野安男が作品を整理した際に付けたタイトルである。小説や記事等のタイトルは「」で示した。制作年は、原則、仕事が発表された年を記載している。

| No. | 作品名/『書名』(作家名)/掲載誌(発行)等 | 制作年(刊行年月) | 技法・素材 | 所蔵 |
|----------------|---|-----------|----------|------------|
| 第1章 上京、デビューまで | | | | |
| 1 | [自画像] | 1920年代か | キャンバスに油彩 | 個人蔵 |
| 2 | 「帝国美術院第三回美術展覧会出品 ときちゃん 松野一夫氏筆」 絵葉書美術工芸会発行 | 1921年 | (絵葉書) | 個人蔵 |
| 3 | ROSKE IN KARAFUTO FROM MY SKETCH BOOK 1917 | 1917年か | 紙に水彩 | 個人蔵 |
| 4 | JAPANESE SOLDIERS IN SIBERIA | 1920年代か | 紙に水彩 | 個人蔵 |
| 5 | ITALIAN AIR MEN ARRIVED AT TOKIO | 1920年か | 紙に水彩 | 個人蔵 |
| 6 | AFTER THE CONFERENCE | 1920年代か | 紙に水彩、鉛筆 | 個人蔵 |
| 7 | LITTLE SINGER | 1920年代か | 紙に水彩 | 個人蔵 |
| 8 | HIS SISTER & HIS BROTHER | 1920年代か | 紙に鉛筆、水彩 | 個人蔵 |
| 9 | TAKIN PICTURE | 1920年代か | 紙に水彩 | 個人蔵 |
| 10 | Garden party | 1920年代か | 紙に水彩、鉛筆 | 個人蔵 |
| 第2章 挿絵画家としての活躍 | | | | |
| 11 | 「昔の人が飛び出したら」『新青年』第1巻第4号(博文館) | 1920年4月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 12 | 「ルパン怪奇探偵 虎の牙(一)」(モーリス・ルブラン/保篠竜緒 訳)『新青年』第2巻第1号(博文館) | 1921年1月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 13 | 「盾」『新青年』第2巻第5号(博文館) 表紙 | 1921年5月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 14 | 「名探偵の顔」『新青年』第5巻10号(博文館) | 1924年8月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 15 | 「シャーロック・ホームズ」『新青年』第6巻6号(博文館) 表紙 | 1925年7月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 16 | 『新青年』第8巻第9号 表紙博文館 | 1927年8月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 17 | 『新青年』第8巻第12号 表紙博文館 | 1927年10月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 18 | 「サムと該撒」挿絵原画(ジョンストン・マッカレー/坂本義雄 訳)『新青年』第10巻第1号(博文館) | 1929年 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 19 | 「サムと犬」挿絵原画(ジョンストン・マッカレー/坂本義雄 訳)『新青年』第12巻第3号(博文館) | 1931年 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 20 | 「七つの燈」挿絵原画(A・K・グリーン/平林初之輔 訳)『新青年』第10巻第3号(博文館) | 1929年 | 紙にインク、墨 | 個人蔵 |
| 21 | 「グリーン家の惨劇」挿絵原画(ヴァン・ダイン/平林初之輔 訳)『新青年』第10巻第7号～第11号 全5回(博文館) | 1929年 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 22 | 「二つの屍体」挿絵原画(パウル・ハイン/甲賀三郎 訳)『新青年』第10巻第6号(博文館) | 1929年 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 23 | 「ジープスが居なくては」挿絵原画(P・G・ウッドハウス/上塚貞雄 訳)『新青年』第10巻第5号(博文館) | 1929年 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 24 | 「ブルドッグ・ドラモンド後日譚」挿絵原画(サツバア)『新青年』第10巻第12号～第11巻第2号 全5回(博文館) | 1929年 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 25 | 「帰ってきたい 帰りたい」挿絵原画(P・G・ウッドハウス/上塚貞雄 訳)『新青年』第10巻第10号(博文館) | 1929年 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 26 | 「法官邸の広間鏡」挿絵原画(G・K・チェスタン)『新青年』第11巻第3号(博文館) | 1930年 | 紙に水彩 | 個人蔵 |
| 27 | 「法官邸の広間鏡」(G・K・チェスタン)『新青年』第11巻第3号(博文館) | 1930年2月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 28 | 「生命競争」挿絵原画(マリ・ベロック・ローンデス)『新青年』第10巻第12号(博文館) | 1929年 | 紙にインク、墨 | 個人蔵 |
| 29 | 「ロジェ街の殺人」挿絵原画(マルセル・ベルジェ/延原謙 訳)『新青年』第11巻第3号(博文館) | 1930年 | 紙に墨、鉛筆 | 個人蔵 |
| 30 | 「影の秘密」挿絵原画(モーリス・ルナル、アルベール・ジャン共作/渡辺尚一 訳)『新青年』第12巻第3号(博文館) | 1931年 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 31 | 「影の秘密」(モーリス・ルナル、アルベール・ジャン共作/渡辺尚一 訳)『新青年』第12巻第3号(博文館) | 1931年2月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 32 | 「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン/延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号～第9号 全3回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆、墨 | 個人蔵 |
| 33 | 「栗鼠」挿絵原画(S・マーテン/延原謙 訳)『新青年』第12巻第9号(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆 | 個人蔵 |
| 34 | 「第三の命令」挿絵原画(サツバア/小野浩 訳)『新青年』第12巻第11号(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆、墨 | 個人蔵 |
| 35 | 「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング/大江専一 訳)『新青年』第12巻第1号～第6号 全5回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆 | 個人蔵 |
| 36 | 「暗鬼」挿絵原画(M・S・ブカナン/小野浩 訳)『新青年』第11巻第11号(博文館) p.13 | 1930年 | 紙に鉛筆、墨 | 個人蔵 |
| 37 | 「赤衛軍に追はれて」挿絵原画(廣瀬将)『新青年』第12巻第10号(博文館) ※挿絵画家不明(松野一夫か) | 1931年 | 紙にインク、墨 | 個人蔵 |
| 38 | 「潜水艦を釣った話」挿絵原画(福永恭助)『新青年』第12巻第3号(博文館) | 1931年 | 紙にインク、墨 | 個人蔵 |
| 39 | 「生命競争」挿絵原画(マリ・ベロック・ローンデス)『新青年』第10巻第12号(博文館) | 1929年 | 紙に鉛筆 | 個人蔵 |
| 40 | 「赤衛軍に追はれて」挿絵原画(廣瀬将)『新青年』第12巻第10号(博文館) ※挿絵画家不明(松野一夫か) | 1931年 | 紙にインク、墨 | 個人蔵 |
| 41 | 「影の秘密」(モーリス・ルナル、アルベール・ジャン共作/渡辺尚一 訳)『新青年』第12巻第3号(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆 | 個人蔵 |
| 42 | 「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング/大江専一 訳)『新青年』第12巻第1号～第6号 全5回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆 | 個人蔵 |
| 43 | 「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン/延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号～第9号 全3回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆、墨 | 個人蔵 |
| 44 | 「二つの髯を持った男」挿絵原画(G・K・チェスタン)『新青年』第12巻第11号(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆、墨 | 個人蔵 |
| 45 | 「二つの髯を持った男」挿絵原画(G・K・チェスタン)『新青年』第12巻第11号(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆、墨 | 個人蔵 |
| 46 | 「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン/延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号～第9号 全3回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆、墨 | 個人蔵 |
| 47 | 「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング/大江専一 訳)『新青年』第12巻第1号～第6号 全5回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆 | 個人蔵 |
| 48 | 「暗鬼」挿絵原画(M・S・ブカナン/小野浩 訳)『新青年』第11巻第11号(博文館) p.13 | 1930年 | 紙に鉛筆 | 個人蔵 |
| 49 | 「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング/大江専一 訳)『新青年』第12巻第1号～第6号 全5回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆、墨 | 個人蔵 |
| 50 | 「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング/大江専一 訳)『新青年』第12巻第1号～第6号 全5回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆、墨 | 個人蔵 |
| 51 | 「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン/延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号～第9号 全3回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆 | 個人蔵 |

| | | | | |
|------------|--|-----------|-------------|------------------|
| 52 | 「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング／大江專一 訳)『新青年』第12巻第1号～第6号 全5回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆、墨 | 個人蔵 |
| 53 | 「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン／延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号～第9号 全3回(博文館) | 1931年 | 紙に墨、鉛筆 | 個人蔵 |
| 54 | 「カリオストロ夫人」(横溝正史)挿絵原画『新青年』第12巻第6号(博文館) | 1931年 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 55 | 「カリオストロ夫人」(横溝正史)挿絵原画『新青年』第12巻第6号(博文館) | 1931年 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 56 | 「第七独居房」(S・マーティン)『新青年』第11巻第9号(博文館) | 1930年 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 57 | 「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン／延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号～第9号 全3回(博文館) | 1931年 | 紙に墨、鉛筆 | 個人蔵 |
| 58 | 「第七独居房」(S・マーティン)『新青年』第11巻第9号(博文館) | 1930年 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 59 | 「モンテカルロの日本娘」挿絵原画(木村毅)『朝日』第3巻第1号～第5号 全5回(博文館) | 1931年 | 紙に鉛筆 | 個人蔵 |
| 60 | 「アルハンブラの薔薇」(本郷春台郎)挿絵原画『少女画報』第17巻第1号(東京社) | 1928年 | 紙に墨、水彩 | 弥生美術館 |
| 61 | 「真紅の楯」挿絵原画(伊福部隆輝)『少女画報』第18巻第11号(東京社) | 1929年 | 紙に墨、インク | 弥生美術館 |
| 62 | 「匂へ太陽の華」第5回 挿絵原画(八木隆一郎)『少女画報』第19巻第4号～第12号 全9回(東京社) | 1930年 | 紙に鉛筆、水彩 | 弥生美術館 |
| 63 | 「愛犬の泪」挿絵原画(浅見淵)『少女画報』第19巻第10号(東京社) | 1930年 | 紙にインク | 弥生美術館 |
| 64 | 「翡翠の耳飾」挿絵原画(飯島実)『少女画報』第19巻第11号(東京社) | 1930年 | 紙に鉛筆 | 弥生美術館 |
| 65 | [ドライブ] 掲載誌不明 | 制作年不明 | 紙にインク | 弥生美術館 |
| 66 | 「何者」挿絵原画(江戸川乱歩)『時事新報』夕刊 1929年11月27日～12月29日 全28回 | 1929年 | 紙に墨、インク | 弥生美術館 |
| 第3章 憧れのパリへ | | | | |
| 67 | [風景] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 68 | [風景] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 69 | [ドームの見える風景] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 70 | [パリの街角] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 71 | [風景] | 1931-32年頃 | ボール紙に油彩 | 個人蔵 |
| 72 | [ヴェネツィア] | 1931-32年頃 | 板に油彩 | 個人蔵 |
| 73 | [二人] | 1931-32年頃 | ボール紙に油彩 | 個人蔵 |
| 74 | [風景] | 1931-32年頃 | 板に油彩 | 個人蔵 |
| 75 | [風景] | 1931-32年頃 | 板に油彩 | 個人蔵 |
| 76 | [風景] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 77 | [広告塔のある風景] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 78 | [エッフェル塔遠望] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 79 | [風景] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 80 | [カフェ] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 81 | [風景] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 82 | [石畳の道] | 1931-32年頃 | キャンバスに油彩 | 個人蔵 |
| 83 | [ターバンの男性] | 1931-32年頃 | 板に油彩 | 個人蔵 |
| 84 | [女性] | 1931-32年頃 | ボール紙に油彩 | 個人蔵 |
| 85 | [ドン・キホーテ] | 1931-32年頃 | 板に油彩 | 個人蔵 |
| 86 | [座る女性] | 1931-32年頃 | キャンバスボードに油彩 | 個人蔵 |
| 87 | [少女] | 1931-32年頃 | 板に油彩 | 個人蔵 |
| 88 | [少年] | 1931-32年頃 | ボール紙に油彩 | 個人蔵 |
| 89 | 兵隊二人* | 1931-32年頃 | 紙にインク、墨、水彩 | 個人蔵 |
| 90 | カルチエラタン 大学のある街角* | 1931-32年頃 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 91 | パリ 盛り場の雑踏* | 1931-32年頃 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 92 | カフェレスターの通り* | 1931-32年頃 | 紙にインク、墨 | 個人蔵 |
| 93 | オランダの子供* | 1931-32年頃 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 94 | カフェの人々／サロンにて* | 1931-32年頃 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 95 | 裸婦のいるアトリエ* | 1931-32年頃 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 96 | エッフェル塔遠望* | 1931-32年頃 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 97 | 台所* | 1931-32年頃 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 98 | 坂上からパリ市街を見る(パリ遠景)* | 1931-32年頃 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 99 | 街角* | 1931-32年頃 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 100 | 男の三人連れ* | 1931-32年頃 | 紙にインク | 個人蔵 |
| 101 | [パリ風景] | 1931-32年頃 | 紙にインク | 小倉高等学校百周年記念明陵会館蔵 |
| 102 | [パリ風景] | 1931-32年頃 | 紙にインク、墨 | 小倉高等学校百周年記念明陵会館蔵 |
| 103 | 巴里地下鉄 | 1931-32年頃 | 紙にインク、墨 | 小倉高等学校百周年記念明陵会館蔵 |
| 104 | 滞欧期スケッチ | 1931-32頃 | 紙に墨、インクなど | 個人蔵 |
| 105 | 『新青年』第13巻第2号 表紙(博文館) | 1932年2月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 106 | 『新青年』第13巻第7号 表紙(博文館) | 1932年6月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 107 | 『新青年』第13巻第8号 表紙(博文館) | 1932年7月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 108 | 『新青年』第13巻第9号 表紙(博文館) | 1932年8月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 109 | 『新青年』第13巻第11号 表紙(博文館) | 1932年9月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 110 | 「巴里スケッチ」『新青年』第13巻第13号(博文館) | 1932年11月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 111 | 「蚤取眼欧州覗奇」『新青年』第14巻第1号(博文館) | 1933年1月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 112 | 「サ・セ・パリ！」『新青年』第14巻第6号(博文館) | 1933年5月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |

| 第4章 帰国後の仕事 | | | | |
|----------------------|--|----------|-----------|-----------------|
| 113 | 「黒死館殺人事件」(小栗虫太郎)挿絵原画『新青年』第15巻第5号～第14号 全9回 (博文館) | 1934年4月 | 紙に墨、インク | 世田谷文学館 |
| 114 | 「黒死館殺人事件」(小栗虫太郎)第1回『新青年』第15巻5号 (博文館) | 1934年4月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 115 | 『トレント最後の事件』(ベントリイ/延原謙 訳/松野一夫 装丁)黒白書房 | 1930年7月 | (図書) | 世田谷文学館 |
| 116 | 『樽』(F・W・クロフツ/森下雨村 訳/松野一夫 装丁)柳香書院 | 1935年2月 | (図書) | 弥生美術館 |
| 117 | 『赤毛のレドメイン家』世界探偵名作全集 第1巻(イーデン・フィルポツ/井上良夫 訳/松野一夫 装丁)柳香書院 | 1935年10月 | (図書) | 世田谷文学館 |
| 118 | 『十二の刺傷』世界探偵名作全集 第2巻(アガサ・クリスティ/延原謙 訳/松野一夫 装丁)柳香書院 | 1935年12月 | (図書) | 世田谷文学館 |
| 119 | 『陸橋殺人事件』世界探偵名作全集 第5巻(ロナルド・ノックス/井上良夫 訳/松野一夫 装丁)柳香書院 | 1936年4月 | (図書) | 世田谷文学館 |
| 120 | 『白蟻』(小栗虫太郎/松野一夫 装丁)ぷろふいる社 | 1935年5月 | (図書) | 世田谷文学館 |
| 121 | 『黒死館殺人事件』(小栗虫太郎/松野一夫 装丁)新潮社 | 1935年5月 | (図書) | 世田谷文学館 |
| 122 | 『科学小説集 地球盗難』(海野十三/松野一夫 装丁)ラヂオ科学社 | 1937年4月 | (図書) | 世田谷文学館 |
| 123 | 「ユキモセデあめりか行脚」『新青年』第15巻第12号 (博文館) | 1934年10月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 124 | 「くろがね島」(G・G・トウドウズ 原作/松野一夫 編集)『新青年』第16巻第3号 (博文館) | 1935年2月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 125 | 「木兎荘の秘密」(ヘルマン・ランドン 原作/松野一夫 編集)『新青年』第16巻第10号 (博文館) | 1935年8月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 126 | 「虹の下の街」(中村正常)挿絵原画『婦人画報』1933年2月号～9月号 全8回 (東京社) | 1933年3月 | 紙にインク | 弥生美術館 |
| 127 | (原画)掲載誌不明 | 制作年不明 | 紙に墨、インク | 弥生美術館 |
| 128 | (原画)掲載誌不明 | 制作年不明 | 紙に墨、インク | 弥生美術館 |
| 129 | 四つのクリスマス イタリー『少女の友』第27巻第12号 (実業之日本社) | 1934年12月 | 紙に水彩、鉛筆 | 早稲田大学會津八一記念博物館 |
| 130 | 四つのクリスマス アイルランド『少女の友』第27巻第12号 (実業之日本社) | 1934年12月 | 紙に水彩、鉛筆 | 早稲田大学會津八一記念博物館 |
| 131 | 四つのクリスマス パリ『少女の友』第27巻第12号 (実業之日本社) | 1934年12月 | 紙に水彩、鉛筆 | 早稲田大学會津八一記念博物館 |
| 132 | 四つのクリスマス ボヘミア『少女の友』第27巻第12号 (実業之日本社) | 1934年12月 | 紙に水彩、鉛筆 | 早稲田大学會津八一記念博物館 |
| 133 | 窓によせる フランス『少女の友』第28巻第6号 (実業之日本社) | 1935年6月 | 紙に水彩、鉛筆 | 早稲田大学會津八一記念博物館 |
| 134 | 世界の少女たち エスキモー『少女の友』第32巻第12号 (実業之日本社) | 1939年10月 | 紙に水彩、インク | 早稲田大学會津八一記念博物館 |
| 135 | 「窓によせる」『少女の友』第28巻第6号実業之日本社 | 1935年6月 | (雑誌) | 早稲田大学會津八一記念博物館 |
| 136 | 「世界の少女たち」『少女の友』第32巻第12号実業之日本社 | 1939年10月 | (雑誌) | 早稲田大学會津八一記念博物館 |
| 137 | 『新衣装読本』『新女苑』第1巻第1号 (実業之日本社) 付録 | 1937年1月 | (図書) | 個人蔵 |
| 138 | 「冬の太陽」(大佛次郎)『少女の友』第35巻第3号実業之日本社 | 1942年3月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 139 | 『冬の太陽』(大佛次郎/松野一夫 挿絵)杉山書店 | 1942年9月 | (図書) | 大佛次郎記念館 |
| 140 | 「新女苑ヴォーグ」『新女苑』第1巻第2号実業之日本社 | 1937年2月 | (雑誌) | 弥生美術館 |
| 141 | 『美 1936』(松野一夫 編集)平凡社 | 1936年12月 | (雑誌) | 北九州市立美術館 |
| 142 | 『美 1936』(松野一夫 編集)関係資料 | 1936年12月 | (校正刷、雑誌等) | 個人蔵 |
| 143 | 「泉」(岸田國士/松野一夫 挿絵)『朝日新聞』切抜き | 1939年 | (新聞切抜き) | 北九州市立美術館 |
| 144 | 『泉』(岸田國士/松野一夫 装丁)朝日新聞社 | 1940年8月 | (図書) | 北九州市立美術館 |
| 145 | 「泉」(岸田國士)挿絵原画『大阪朝日新聞』1939年10月7日～40年3月11日 全156回 | 1939年 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 146 | 「逃走」(第二回以降、幽霊大陸へ行く)(大佛次郎、挿絵:松野一夫)『大陸』第2巻第1号(改造社) | 1939年1月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 147 | 「幽霊大陸へ行く」(逃走改題)(大佛次郎、挿絵:松野一夫)『大陸』第2巻第2号(改造社) | 1939年2月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 148 | 「江上の春」『大陸』第2巻第3号 表紙(改造社) | 1939年3月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 149 | 「緑風」『大陸』第2巻第6号 表紙(改造社) | 1939年6月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 150 | 『大陸』第2巻第8号 表紙(改造社) | 1939年8月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 151 | 『大陸』第2巻第9号 表紙(改造社) | 1939年9月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 152 | 『新青年』第20巻第8号 表紙原画『新青年』第20巻第8号 | 1939年6月 | キャンバスに油彩 | 弥生美術館 |
| 153 | 『新青年』第20巻第8号 表紙(博文館) | 1939年6月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 154 | 『新青年』表紙 校正刷、切抜き | | (校正刷) | 個人蔵 |
| 155 | 「汕頭我軍警備風景」『靖国の繪巻』(陸軍省情報部・海軍省軍事普及部 編)陸軍美術協会 | 1939年9月 | (図書) | 個人蔵 |
| 156 | 「龍州作戦」『靖国の繪巻 昭和十五年秋季大祭記念』(陸軍省・海軍省 編)陸軍美術協会 | 1940年9月 | (図書) | 昭和館 |
| 157 | 「北支石徳線開通風景」『靖国の繪巻 昭和十六年春季大祭記念』(陸軍省・海軍省 編)陸軍美術協会 | 1941年4月 | (図書) | 個人蔵 |
| 158 | 「第二次中原作戦」『靖国の繪巻 昭和十六年秋季大祭記念』(陸軍省・海軍省 編)陸軍美術協会 | 1941年10月 | (図書) | 個人蔵 |
| 159 | 「オールドス氷原作戦」『靖国の繪巻 昭和十七年春季大祭記念』(陸軍省・海軍省 編)陸軍美術協会 | 1942年4月 | (図書) | 個人蔵 |
| 160 | 「大地を衝く」『新青年』第21巻第13号 表紙博文館 | 1940年11月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 161 | 『新青年』第25巻第5号 表紙博文館 | 1944年5月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 162 | 『新青年』第25巻第9号 表紙博文館 | 1944年9月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 163 | 『新青年』第26巻第2号 表紙博文館 | 1945年2月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 164 | 「げんきな海洋少年少女団員」『幼年倶楽部』第18巻第5号 表紙大日本雄弁会講談社 | 1943年5月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 165 | 「ラッカサントフ」『幼年倶楽部』第19巻第2号 表紙大日本雄弁会講談社 | 1944年2月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 166 | 「陸の鳳雛」『若櫻』創刊号 表紙大日本雄弁会講談社 | 1944年5月 | (雑誌) | 個人蔵 |
| 167 | 「砲隊鏡と少年砲兵」『若櫻』第1巻3号 表紙大日本雄弁会講談社 | 1944年7月 | (雑誌) | 個人蔵 |
| 168 | 第三十六回 陸軍記念日 三月十日 ポスター陸軍省 | 1941年 | (ポスター) | 山崎記念中野区立歴史民俗資料館 |
| 169 | 愛国いろはかるた 絵札日本玩具統制協会 | 1943年12月 | (カルタ) | 個人蔵 |
| 第5章 戦後、探偵小説と子どものための本 | | | | |
| 170 | 天高し『少年倶楽部』第32巻第7号(大日本雄弁会講談社)表紙 | 1945年10月 | キャンバスに油彩 | 弥生美術館 |
| 171 | みんな集れ『少年倶楽部』第32巻第8号(大日本雄弁会講談社)表紙 | 1945年12月 | キャンバスに油彩 | 弥生美術館 |
| 172 | [少年]掲載誌不明 | 制作年不明 | キャンバスに油彩 | 弥生美術館 |

| | | | | |
|-----|---|----------|----------|----------------|
| 173 | 『よい子の日記』(松野一夫)泉書院 | 1947年 | (図書) | 個人蔵 |
| 174 | 『イナカノセイカツ 農村四季』(松野一夫)豊文社 | 1947年4月 | (図書) | 個人蔵 |
| 175 | 『ドウブツエン ZOOLOGICAL GARDEN』(松野一夫)豊文社 | 1947年頃 | (図書) | 個人蔵 |
| 176 | 『汽車』(松野一夫)博文館 | 1943年7月 | (図書) | 個人蔵 |
| 177 | 『汽車』(松野一夫)豊文社 | 1947年頃 | (図書) | 個人蔵 |
| 178 | [汽車スケッチ] | 制作年不明 | 紙に墨、インク | 個人蔵 |
| 179 | [汽車スケッチ] | 制作年不明 | 紙に鉛筆 | 個人蔵 |
| 180 | ドウブツエン 原画『ドウブツエン ZOOLOGICAL GARDEN』(豊文社 刊行年不明) | 1947年頃 | 紙に水彩 | 個人蔵 |
| 181 | 『たのしい町』(松野一夫) 画稿『たのしい町』(豊文社 刊行年不明) | 刊行年不明 | 紙に水彩 | 個人蔵 |
| 182 | 『たのしい町』(松野一夫) 校正刷『たのしい町』(豊文社 刊行年不明) | 刊行年不明 | (校正刷) | 個人蔵 |
| 183 | 「名作物語 四人の姉妹」(オルコット／安藤一郎 訳)挿絵原画『ひまわり』第1巻第1号～第6号(ひまわり社、1947) | 1947年2月 | 紙にインク | 弥生美術館 |
| 184 | 『セルカークの冒険』ともだち文庫30(小出正吾／松野一夫 挿絵)中央公論社 | 1949年3月 | (図書) | 県立神奈川近代文学館 |
| 185 | 『セルカークの冒険』(小出正吾) 挿絵原画 | 1949年3月 | 紙にインク | 県立神奈川近代文学館 |
| 186 | 『雪山の煙の下に』こどもかい文庫(桜井書店) | 1926年4月 | (図書) | 県立神奈川近代文学館 |
| 187 | 『雪山の煙の下に』(川崎大治) 挿絵原画 | 1948年6月 | 紙に墨 | 県立神奈川近代文学館 |
| 188 | 『青春罪ありや』(大佛次郎／松野一夫 挿絵) 苦楽社 | 1948年11月 | (図書) | 大佛次郎記念館 |
| 189 | 「青春罪ありや」(大佛次郎) 挿絵原画『苦楽』海外版 新年号(苦楽社、1948) | 1948年1月 | 紙にインク | 大佛次郎記念館 |
| 190 | 「仇討親爺」(水谷準) 挿絵原画『天馬』第1巻第1号(苦楽社) | 1949年1月 | 紙にインク | 大佛次郎記念館 |
| 191 | 「本陣殺人事件」第1回(横溝正史)『宝石』第1巻第1号(岩谷書店) | 1946年3月 | (雑誌) | 世田谷文学館 |
| 192 | 「本陣殺人事件」第4回(横溝正史)『宝石』第1巻第4号(岩谷書店) | 1946年7月 | (雑誌) | 世田谷文学館 |
| 193 | 「諸家のカリカチュア」『新青年』第7巻第5号(博文館) | 1926年4月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 194 | 「探偵作家商売見立て」『宝石』1953年2・3月号(岩谷書店) | 1953年2月 | (雑誌) | 県立神奈川近代文学館 |
| 195 | 『別冊宝石 江戸川乱歩還暦記念号』第42号 第7巻第9号 表紙(岩谷書店) | 1954年11月 | (雑誌) | 豊島区 |
| 196 | 江戸川乱歩肖像画『別冊宝石 江戸川乱歩還暦記念号』第42号 第7巻第9号(岩谷書店) 表紙 | 1954年11月 | キャンバスに油彩 | 豊島区 |
| 197 | 『別冊宝石』第8号 第3巻第2号 表紙(岩谷書店) | 1950年4月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 198 | 『別冊宝石』第9号 第3巻第3号 表紙(岩谷書店) | 1950年6月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 199 | 『別冊宝石』第10号 第3巻第4号 表紙(岩谷書店) | 1950年8月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 200 | 『別冊宝石』第11号 第3巻第5号 表紙(岩谷書店) | 1950年10月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 201 | 『別冊宝石』第9号 第3巻第3号 表紙原画『別冊宝石』第9号 第3巻第3号(岩谷書店) 表紙 | 1950年6月 | キャンバスに油彩 | 大佛次郎記念館 |
| 202 | 「災厄の町」(エラリー・クイーン／松野一夫 挿絵)『宝石』第5巻第3号(岩谷書店) | 1950年3月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 203 | 「猫じゃ猫じゃ事件」(土岐雄三／松野一夫 挿絵)『宝石』第5巻第6号(岩谷書店) | 1950年6月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 204 | 「蠅人形館の殺人」(ディクソン・カー／松野一夫 挿絵)『宝石』第6巻第4号(岩谷書店) | 1951年4月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 205 | 「菊合せ(瓢庵先生捕物帖)」(水谷準／松野一夫 挿絵)『宝石』第7巻第12号(岩谷書店) | 1952年12月 | (雑誌) | 大佛次郎記念館 |
| 206 | 富士を背負ふ『少年倶楽部』第33巻第1号 表紙(大日本雄弁会講談社) | 1946年1月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 207 | 工作する子ども『小学六年生』第4巻第11号 表紙(小学館) | 1952年2月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 208 | 『中学生の友』第30巻第1号 表紙(小学館) | 1953年4月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 209 | 『すぐれた人々の少年少女時代』ローマ字教育文化協会(東和社) | 1949年 | (図書) | 個人蔵 |
| 210 | 『音楽之友』第6巻第1号 表紙(音楽之友社) | 1948年1月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 211 | 『音楽之友』第6巻第2号 表紙(音楽之友社) | 1948年2月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 212 | 『音楽之友』第6巻第11号 表紙(音楽之友社) | 1948年11月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 213 | 『音楽之友』第8巻第9号 表紙(音楽之友社) | 1950年9月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 214 | 『名探偵ルコック』世界名作全集73(ガボリオ／江戸川乱歩)(大日本雄弁会講談社) | 1948年10月 | (図書) | 個人蔵 |
| 215 | 『ジキル博士とハイド』世界名作全集105(スチブンソン／岩田良吉)(大日本雄弁会講談社) | 1955年7月 | (図書) | 個人蔵 |
| 216 | 「ガリバー旅行記」(スウィフト／西村孝次 訳)『少年少女世界文学全集』第6巻 イギリス編 第3巻(講談社) | 1959年9月 | (図書) | 個人蔵 |
| 217 | 『水晶山の少年』ロビン・ブックス2(大佛次郎)(河出書房) | 1955年7月 | (図書) | 大佛次郎記念館 |
| 218 | 『エジソン』講談社の絵本52(沢田謙)(大日本雄弁会講談社) | 1951年 | (図書) | 昭和館 |
| 219 | 『シンドバット物語』講談社の絵本68(久米元一)(大日本雄弁会講談社) | 1953年 | (図書) | 昭和館 |
| 220 | 『少年探偵 江戸川乱歩全集』(江戸川乱歩／松野一夫 装丁)全23巻のうち、1、4、5、8、10、11巻(光文社) | 1951-60年 | (図書) | 弥生美術館、個人蔵(1のみ) |
| 221 | 『「新青年」の頃』(乾信一郎／松野一夫 カバー装画)(早川書房) | 1991年11月 | (図書) | 北九州市立美術館 |
| 222 | 『のぼらひめ』(グリム／柴野民三)(国際情報社) | 1973年頃 | (図書) | 個人蔵 |
| 223 | 『アルセーヌ・ルパン全集』(モーリス・ルブラン／保篠竜緒 訳／松野一夫 装丁)全25巻のうち、1、3、7～10、13～21、23～25(日本出版協同) | 1951-53年 | (図書) | 世田谷文学館 |
| 224 | 「怪奇名作絵物語 拾った目玉」(アイリッシュ／矢田洋 訳／松野一夫 挿絵)『中学生の友』第33巻第2号(小学館) | 1956年5月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 225 | 「ぼくらの勉強室 外国人の顔のかきかた」(松野一夫)『少年クラブ』第39巻第4号(大日本雄弁会講談社) | 1952年3月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 226 | 「私の若かった頃の音楽界」(松野一夫)『音楽之友』第6巻第8号 pp.28-30(音楽之友社) | 1948年8月 | (雑誌) | 昭和館 |
| 227 | 「雲の兄妹」挿絵原画(北條誠)『よみうり少年少女新聞』1958年4月26日～12月30日 全107回 | 1958年 | 紙に水彩など | 個人蔵 |
| 228 | 「のろまのハンス」原画(アンデルセン／神戸淳吉)『オールカラー版 世界名作 イソップ・グリム・アンデルセン』6(国際情報社) | 1973年頃 | 紙に水彩、鉛筆 | 個人蔵 |
| 229 | 「のろまのハンス」画稿(アンデルセン／神戸淳吉) | 1973年頃 | 紙に水彩、鉛筆 | 個人蔵 |
| 230 | 「のぼらひめ」原画(グリム／柴野民三)『オールカラー版 世界名作 イソップ・グリム・アンデルセン』12(国際情報社) | 1973年頃 | 紙に水彩、鉛筆 | 個人蔵 |
| 231 | 「のぼらひめ」画稿(グリム／柴野民三) | 1973年頃 | 紙に水彩、鉛筆 | 個人蔵 |
| 232 | 「あふれるおかゆ」原画(グリム／神戸淳吉)『オールカラー版 世界名作 イソップ・グリム・アンデルセン』1(国際情報社) | 1973年頃 | 紙に水彩、鉛筆 | 個人蔵 |
| 233 | 「あふれるおかゆ」画稿(グリム／神戸淳吉) | 1973年頃 | 紙に水彩、鉛筆 | 個人蔵 |

| 第6章 新たな画境へ | | | | |
|------------|-------------------------------|----------|--------|----------------|
| 234 | 小倉絵巻 | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 北九州市立自然史・歴史博物館 |
| 235 | 夜の門司港 | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 236 | 広寿山福聚禅寺 | 1965年 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 237 | 牛久沼 晩春菖蒲咲く頃 | 1966年6月 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 238 | 越生観梅記 | 1967年3月 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 239 | 富士箱根紅葉記 | 1967年11月 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 240 | 大垂水沢相模湖の桜 惜春紀行 | 1967年4月 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 241 | [風景] | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 242 | L'autame | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 243 | [風景] | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 244 | パリ 労働者街 帰路* | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 245 | 少女とバイオリン弾き* | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 246 | 三人のフラテリーニ パリ シルクに於て | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 247 | 劇場 貴賓席* | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 248 | 駿河の海おし辺に生ふる浜つづら汝を頼み母に違ひぬ | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 249 | 富士の嶺のいや遠長き山道をも妹がりとはばけによばす来ぬ | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 250 | 良寛像 | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 251 | 驟雨 | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 252 | 野を横に馬ひきむけよほととぎす(松尾芭蕉「おくのほそ道」) | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 253 | 尾花沢にて(松尾芭蕉「おくのほそ道」) | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 254 | 山中与幽人对酌(李白) | 1965年 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 255 | 閑梨花発贈劉師(韓愈) | 1960年代 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |
| 256 | 贈高式顔(杜甫) | 1966年 | 紙に墨、淡彩 | 個人蔵 |

松野一夫『新青年』全表紙(複製展示)

1920(大正9)年1月から1950(昭和25)年7月まで博文館より刊行された『新青年』全400冊のうち、松野一夫が手がけた表紙の巻号を示す。2(5)は第2巻第5号を表す。『新青年』に作者名の表記がないが、松野一夫の作と判断したものには、*を付した。表紙絵にタイトルがあるものは「」で示した。

| |
|--|
| 1921(大正10)年 第2巻 2(5)「盾」、2(7)「海の子」、2(11)「犬」 |
| 1922(大正11)年 第3巻 3(1)「雪の朝」、3(4)「若草の上」、3(5)「騎士」、3(6)「春と青年」、3(7)「初夏」、3(8)「花いちぢり」、3(9)「涼風」、3(11)「お花畑」、3(12)「初秋」、3(13)「収穫」、3(14)「秋の田園」 |
| 1923(大正12)年 第4巻 4(4)「冬」、4(5)「遠乗」、4(7)「春の川縁」、4(8)「緑蔭」、4(9)「海風」、4(10)「涼風」、4(12)「山頂にて」、4(13)、4(14)「建設の意気」 |
| 1924(大正13)年 第5巻 5(1)「長嘯」、5(3)、5(4)「競馬」、5(6)「南国」、5(7)「風車」、5(8)「熱風の下」、5(9)、5(10)「怪盗の顔」、5(11)「廓大鏡下に」、5(12)「扉の隙から」、5(13)「ベッドの下」、5(14)「黒い影」 |
| 1925(大正14)年 第6巻 6(1)「空中の格闘」、6(2)「運命の塔」、6(3)「パイプ」、6(4)「サロビー爺さん」、6(5)「幻の手」、6(6)「シャーロック・ホームズ」、6(7)、6(8)、6(9)「窓の女」、6(10)、6(11)「新聞売」、6(12)、6(13)、6(14) |
| 1926(大正15/昭和元)年 第7巻 7(1)、7(2)、7(3)*、7(4)、7(5)、7(6)、7(7)、7(8)、7(9)、7(10)、7(11)、7(12)、7(13)、7(14) |
| 1927(昭和2)年 第8巻 8(1)、8(2)、8(3)、8(4)、8(5)、8(6)、8(7)、8(8)「輪廻し」、8(9)「胡弓を弾く女」、8(10)「なんせんす」、8(11)「初秋散歩」、8(12)「感傷の秋」、8(13)「をどりこ」、8(14)「小春日和」 |
| 1928(昭和3)年 第9巻 9(1)「海村」、9(2)「コーカサスの踊子」、9(3)「或女のブルルフィル」、9(4)「華麗なる春」、9(5)「新婚旅行」、9(6)「憩ひ」、9(8)「白衣の女」、9(9)「チン・チン・チャイナマン」、9(10)「ボードビル」、9(11)「さのぼがん」、9(12)「あきたけなは」、9(13)「ことほぎて踊る」、9(14)「楽しきイヴ」 |
| 1929(昭和4)年 第10巻 10(1)「新世紀」、10(2)「クラウンの春」、10(3)「夢見る眸」、10(4)「鷺の羽根」、10(5)「ダンドリオン」、10(6)「碧玉」、10(7)「緑衣聖女」、10(8)「彼女」、10(9)「海風」、10(10)「覆面姫」、10(11)「ギャルソンヌ」、10(12)「南国のダリア」、10(13)「ラグビーと彼女」、10(14)「チルチルミチルの夜」 |
| 1930(昭和5)年 第11巻 11(1)、11(2)、11(3)*、11(4)、11(5)、11(6)、11(7)*、11(8)、11(9)、11(10)、11(11)、11(12)、11(13)、11(14)、11(15)*、11(16) |
| 1931(昭和6)年 第12巻 12(1)、12(2)、12(3)、12(4)、12(5)、12(6)、12(7)、12(8)*、12(9)、12(10)、12(11)、12(12)、12(13)、12(14)、12(15)*、12(16) |
| 1932(昭和7)年 第13巻 3(1)、13(2)、13(3)、13(4)、13(5)、13(6)、13(7)、13(8)、13(9)、13(11)、13(12)、13(13)、13(14)□ |
| 1933(昭和8)年 第14巻 4(1)、14(2)、14(3)、14(4)、14(5)*、14(6)、14(7)、14(8)、14(9)、14(10)、14(11)、14(12)、14(13)、14(14) |
| 1934(昭和9)年 第15巻 15(1)、15(2)、15(3)、15(4)、15(5)、15(6)、15(7)、15(8)、15(9)、15(10)、15(11)、15(12)、15(13)、15(14) |
| 1935(昭和10)年 第16巻 16(1)*、16(2)、16(3)、16(4)、16(5)、16(6)、16(7)、16(8)、16(9)、16(10)、16(11)、16(12)、16(13)、16(14) |
| 1936(昭和11)年 第17巻 17(1)、17(2)、17(3)、17(4)、17(5)、17(6)、17(7)、17(8)、17(9)、17(10)、17(11)、17(12)、17(13)、17(14) |
| 1937(昭和12)年 第18巻 18(1)、18(2)、18(3)、18(4)、18(5)、18(6)、18(7)、18(8)、18(9)、18(10)、18(11)、18(12)、18(13)、18(14)、18(15)、18(16)、18(17) |
| 1938(昭和13)年 第19巻 19(1)、19(2)、19(3)、19(4)、19(5)、19(6)、19(7)、19(8)、19(9)、19(10)、19(11)、19(12)、19(13)、19(14)、19(15)、19(16)、19(17)、19(18) |
| 1939(昭和14)年 第20巻 20(1)、20(2)、20(3)、20(4)、20(5)、20(6)、20(7)、20(8)、20(9)、20(10)、20(11)、20(12)、20(13)、20(14)、20(15)、20(16) |
| 1940(昭和15)年 第21巻 21(1)、21(2)、21(3)、21(4)、21(5)、21(6)、21(7)、21(8)、21(9)、21(10)、21(11)、21(12)、21(13)「大地を衝く」、21(14)「鳩群れたつ」 |
| 1941(昭和16)年 第22巻 22(1)、22(2)、22(3)、22(4)、22(5)、22(6)、22(7)、22(8)、22(9)、22(10)、22(11)、22(12) |
| 1942(昭和17)年 第23巻 23(1)、23(2)、23(3)、23(4)、23(5)、23(6)「密林を背に」、23(7)、23(8)「造船所の一刻」、23(9)「大陸稔る」、23(10)「銀輪肩に」、23(11)「牧場へ」、23(12)「操舵」 |
| 1943(昭和18)年 第24巻 24(1)「迎春」、24(2)、24(3)、24(4)、24(5)、24(6)、24(7)、24(8)、24(9)、24(10)、24(11)、24(12) |
| 1944(昭和19)年 第25巻 25(1)、25(2)、25(3)、25(4)、25(5)、25(6)、25(7)、25(8)、25(9)、25(10)、25(11)、25(12) |
| 1945(昭和20)年 第26巻 26(1)、26(2) |
| 1946(昭和21)年 第27巻 27(1)、27(2)、27(3)、27(4)、27(5)、27(6)、27(7)、27(8)、27(9)、27(10)、27(11)* |
| 1947(昭和22)年 第28巻 28(1)、28(2)、28(3)、28(4)、28(5)、28(6)、28(7)、28(8) |
| 1948(昭和23)年 第29巻 29(1)、29(2)、29(3) |